


# 両川まち歩きMAP

神社仏閣 その他スポット

**1 信濃川漁業協同組合**

鮭のふ化増殖を目的とした取り組みを行っている漁業団体です。河川延長の長い信濃川の河口部に位置する新潟市では昔から肉質の良い鮭が漁獲されますが、現在の河川環境では鮭の産卵場はほとんどないため、信濃川漁協では、「人口ふ化事業」を行うなど、鮭資源の維持に努めています。また、小学生などが稚魚放流の体験学習をすることも可能で、秋には鮭のつかみ取り体験もできます。




**2 誓慶寺**

1209年(承元3)に開かれました。お寺でヨガを定期的開催しているほか、キッチンカーを呼び、築200年の庫裡(台所)を多目的スペースとして活用しカフェを開業するなど地域に根差した寺院です。段差がなく、バリアフリーにも対応しており、人々の交流が図られています。




**3 齋藤芳彦 出生の地碑**

両川(和田)出身の金属を加工する職人です。幼少期から彫刻に親しみ、江戸へ出て学び、また余暇に歯学(歯学)も学びました。帰郷後、新発田藩に認められ、1857年(安政4)には、弥彦神社に奉納する大太刀の虎の目貫(柄を華やかに装飾する金具)を作成しました。また、晩年には歯科医の傍ら、農具・排水用具の改良にも尽力しました。



**4 旧亀鶴橋の欄干**

1886年(明治19)に初代亀鶴橋が架けられました。2代目(地図点線部分)は1934年(昭和9)に架けられ、3代目(現在)は2005年(平成17)から使われています。主な交通手段が舟から鉄道・バスに移行した際に酒屋と対岸の往來に役立ち、酒屋町の隆盛の原動力になりました。




**新潟市広域MAP**



**11 専念寺**

1559年(永禄2)に柏崎で開かれ、慶長年間にこの地へ移ったといわれています。寺には、1805年(文化2)8代住職の成栄住師の時、釈迦如来の夢知らせにより、大洲の東陽寺から移された釈迦如来の木像が安置されています。この像への供え物は「オコリ」(マリアの一種)の妙薬だとして、頂きに来る人々がいたと伝えられています。




**12 神明社 諏訪社 合殿**

慶長年間(1596年~1615年)に建立したとされています。江戸時代末期から始まった嘉瀬芝居は、嘉瀬祭りの名物でした。この地域には昔から芸事の好きな者が多く、青年独特の踊りなどが伝えられてきました。明治時代に世間から人気を集め、戦後しばらく祭礼時に舞台上行われましたが、現在は見ることはできません。



**13 浄願寺**

1573年(天正元)に開かれました。度々火災に遭い消失しましたが、庫裡は1840年(天保11)に、本堂は1850年(嘉永3)に再建しました。地元の割野の人がこの寺を「御坊様」と呼んでいるのは、元々本願寺直属の末寺で、本願寺を人々が御坊と呼んでいたことによるものです。松尾芭蕉の句碑「古池やかわず飛び込む水の音」が境内にあるほか、美しい庭を見ることもできます。



**14 梨ロード**

8月から12月にかけて梨の販売所が並び賑わう通りです。新潟は梨の栽培が盛んで、とりわけ両川・横越・亀田には多くの梨畑が広がっています。




一面に水田が広がっているんだ！ 冬になると白鳥が飛んでくるんだね～

企業の集積マジバネエっす！！

ここから見える夕日マジ映える～ 昼くのためにあるような場所さ～

この写真は、左に初代、中央には2代目が見えているYO！ エモくない！？

堤防が切れたところは、今も家がないぜ！

シュークリームがうんめえ～お店があるんて～

昔の両川中学校は河川敷にあったんだぜ！

江戸時代から続くお祭り行列がここから出発するんだね～

ここがお花人形の神社YO～！

本敬寺、西養寺、敬覚寺は、酒屋町の三ヶ寺と呼ばれているんだぜ！

両川自慢のうんめえ梨が作られているのはここなんて～


**5 酒屋二・七の市**

2と7がつく日に亀鶴橋の近くで市場が開かれています。江戸中期に始まり、一時中断を経て、明治時代から再開され、今に続く歴史ある市場です。江戸時代、酒屋のような農村部に開設した市を中心とする商工業集落は在郷町と呼ばれていました。大正時代に特に栄え、酒屋町は亀田郷の経済拠点の一つとして発展しました。



**6 敬覚寺**

1566年(永禄9)に寺地(西区)から酒屋町に移りました。親鸞聖人「川越波切御名号」が本堂にあります。親鸞聖人がご布教を終え、寺地村から舟に乗って鳥屋野へ渡ろうとしたときに天候が悪化し、舟が進まず途方に暮れていたところ、「南無阿彌陀仏」の六字御名号を書き、舟の帆柱に括り付けたところ、嵐が収まり、無事につくことができたことと伝えられています。



**7 西養寺**

建武年間(1334年~1338年)護摩堂城主の一族高田信光が田上に創立したといわれています。元亀年間(1570年~1573年)に酒屋に移りました。親鸞聖人越後七不思議の一つ「繋がり」があり、実を数珠のように繋ぐための穴があいています。親鸞聖人がお茶請けに出されたカヤの実を庭にまいたところ、火で煎られたカヤの実から芽が出ました。これは、めでたいことの兆兆として伝えられています。



**8 八坂社 諏訪社 合殿**

「燕市八王子」に祀られていた社を八坂社と改称し、別の場所に祀られていた諏訪神社と合祀しました。酒屋太々神楽は、毎年、神社の春と秋の祭礼で奉納されています。また、社殿に向かって右奥に日露戦争の際の陸軍大将だった乃木希典が揮毫したとされる昭忠碑があります。



**9 本敬寺**

1651年(慶安4)に開かれました。石川鼎加賀から西酒屋(南区)に移転し、4代目の時に現在地に移ったと伝わっています。会津藩の連絡所としての役割をしており戊辰戦争の戦死者が埋葬されています。当時の名残として、徳川家の葵の御紋入りの装束が保管されています。会津藩ゆかりのお寺として、会津方面から訪れる方もいます。



**10 会津藩酒屋陣屋碑**

1865年(慶応元)酒屋は会津藩領となり、2年後に陣屋がおかれ、4代目の時に現在地に移ったと伝わっています。会津藩の連絡所としての役割をしており戊辰戦争の戦死者が埋葬されています。当時の名残として、徳川家の葵の御紋入りの装束が保管されています。会津藩ゆかりのお寺として、会津方面から訪れる方もいます。

